

2016年度 森泰吉郎記念研究振興基金 研究成果報告書

<*Chlamydomonas reinhardtii* (緑藻綱, オオヒゲマワリ目)の代謝物質の日内変動>

政策・メディア研究科 修士課程2年

先端生命科学 専攻 (BI)

宗像 英仁 (むなかた ひでひと)

【研究概要】

藻類は次世代燃料となり得る中性脂質を細胞内に貯蔵することで知られており、今後研究による知見の深化により人類の社会環境を向上できる可能性の高い生物材料である。

本研究ではまず代謝学的に藻類細胞の挙動を理解することを目的に、生物が生得的に持つ自律的な周期変動である生物リズムの代表例である細胞周期と概日リズムと代謝との関連性を理解することを目的にした。

※日本藻類学会での発表を予定しているため、詳細は控えさせていただきます。

謝辞

森泰吉郎記念研究振興基金は主に実験指導や研究ミーティング、勉強会への参加旅費等に支出させていただきました。研究指導者が同じ大学内にいないことから、研究指導やミーティングのため山形県鶴岡市の先端生命科学研究所と東京を行き来することが多い研究生活でしたが、本研究振興基金のお陰で幾分支えられました。この基金がなければ今回の研究成果はでなかったことから、深く御礼申し上げます。